

平成31年2月14日(木)

バレンタインデーと学年末テスト

今週は、学年末テスト週間です。1年の総決算として、学年の評価を受けるためのテストです。生徒諸君は、自分の現段階の学力をいかに高めるかを考慮しつつ、この1年の総決算としてテストに臨んでほしいと考えます。

そして、本日は、バレンタインデーでもあります。私が中学生になったころから、日本国中でバレンタインデーなるものが位置づけられ、チョコレートをもって女子が男子に愛を告げるなどという、まさしく菓子会社の陰謀が思惑通りになった行事が流行りだしました。

今日あたり、チョコレートをもらってにやついている男子諸君はいませんか。タダでもらえるものほど高くつくものです。心してもらってください。

バレンタインデー(英: Valentine's Day)、または、聖バレンタインデー(セントバレンタインデー、英: St. Valentine's Day)は、2月14日に祝われ、世界各地でカップルの愛の誓いの日とされる。元々269年にローマ皇帝の迫害下で殉教した聖ヴァレンティヌス(テルニのバレンタイン)に由来する記念日だと、主に西方教会の広がる地域において伝えられていた。

日本では、1958年ころから流行した。ただし、その内容は日本独自の発展を遂げたものとなっている。戦前に来日した外国人によって一部行われ、第二次世界大戦後まもなく、流通業界や製菓業界によって販売促進のために普及が試みられたが、日本社会に定着したのは、1970年代後半であった。

「女性が男性に対して、親愛の情を込めてチョコレートを贈与する」という「日本型バレンタインデー」の様式が成立したのもこのころであった。なお、バレンタインデーにチョコレートを渡すのがいいと最初に考案して実践したのは、一説に大田区の製菓会社メリーチョコレートカンパニーであるとされる。

西欧・米国でも、恋人やお世話になった人に『チョコレート』を贈ることはあるが、決してチョコレートに限定されているわけではなく、またバレンタインデーに限ったことでもない。女性から男性へ贈るのが殆どという点と、贈る物の多くが『チョコレートに限定されている』という点は、日本のバレンタインデーの大きな特徴である。

「日本型バレンタインデー」が、日本の社会に定着すると、さらに日本独自の習慣が登場した。1980年前半に登場したホワイトデーと義理チョコである。

